

発表会・展示会・講演会・シンポジウム・セミナー

◆ 講演会・シンポジウム・セミナー

これからのプラスチック材料講演会 ～回転成形がもたらす今後の京都～

日時:10月14日(水) 13:00～16:15 場所:工業技術センター 2階交流ホール 主催:京都市、京都合成樹脂研究会
共催:京都工試協会、京都府プラスチック協同組合

この講演会は、金沢大学 五十嵐敏郎氏、京都工芸繊維大学 藤戸幹雄氏の両者を講師に開催されました。日本及び世界における最新の回転成形技術の動向から、デザインの多様性、多品種・小ロット生産への適合性、地産地消の重要性など、今後のプラスチック材料における事業展開への参考とされる意見が多く出されました。京都市内のプラスチック関係業者だけでなく、市外からの参加もありました。



平成21年度 中小企業会計啓発・普及セミナー「不況に負けない経営力をつける ～上手な資金のつくりかた～」



日時:10月14日(水) 13:30～16:30 場所:京都府産業支援センター5階研修室
主催:(独)中小企業基盤整備機構、(財)中小企業情報化促進センター 実施団体:(財)京都産業21

中小企業経営者、財務担当者を対象に開催されました。講師に中小企業診断士、一級販売士であり、長岡京市商工会にて経営支援にあたられている藤井明登氏を迎え、「適切な会計処理による決算書」を作成することの意義・必要性と、それを実務に活かし、経営力を高めるためのポイントについて解説していただきました。重点解説ポイントは、利益と資金の関係(利益≠資金、「黒字倒産」や「勘定合って銭足らず」の原因)、とくに実務に即した実践的な利益・資金繰りに重点を置いた経営力強化についてです。充実した講義内容で、受講者の好評を博しました。

専門家との直接意見交換シンポジウム in KRP Part II 「モノづくりからみた再生医療の実用化に向けて ～日本が世界をリードするために～」

日時:10月15日(木) 10:00～17:30 (交流会18:00～19:30) 主催:KRP地区7機関
場所:【シンポジウム】京都リサーチパーク東地区1号館4階サイエンスホール 【交流会】京都リサーチパーク東地区 アトリウム

午前の部では、基調講演で「細胞培養装置の自動化の問題点」などの紹介があり、続く特別講演で「自家細胞を用いた再生医療の産業化をいかに達成するか」について報告されました。午後の部では、「再生医療サポートプラットフォーム」の活動内容の紹介に続いて、「実用化に向けた医工連携やモノづくりの重要性」についての、専門家と参加者との意見交換(パネルディスカッション)が行われました。意見交換では、再生医療の産業化に向けたレギュレーションや特許をはじめ、研究現場で使われる道具や材料などの周辺技術、細胞治療の考え方などに関する参加者からの質問や要望が途絶えることなく、パネラーの先生方との間で活発な意見交換や対話がなされ、相互に理解を深め合う有意義なシンポジウムとなりました。なお、お昼の休憩を利用して、3件のランチンセミナーとラボツアーが盛況裏に開催されました。



価値創造セミナー(講演者:川崎和男氏)『おもい』を『かたち』にする力 ～デザインが世界を変える～



日時:10月16日(金) 14:00～15:30 場所:京都リサーチパーク西地区 4号館2階 ルーム1会議室 主催:KRP地区7機関
後援:近畿経済産業局、京都商工会議所、(社)京都経済同友会、(社)京都工業会、京都産学公連携機構、
(財)大学コンソーシアム京都、京都知恵と力の博覧会推進協議会

価値創造セミナーでは、デザインディレクターの川崎和男氏にご講演いただきました。当日は多くのお客様にご参加いただき、会場は開始前から熱気にあふれる状態でした。「おもい」が、いかにして先生のキーワードでもある「いのち」・「きもち」・「かたち」へとつながっていくかを「ことば」の成り立ちまで掘り下げながら解説いただくと共に、世界的な問題となる貧困層への医療支援とビジネスに対しどのようにデザインが貢献していくかを先生のPKD活動を通じて語っていただきました。デザインとは、意匠だけではなく、使いやすさから使用後の問題までを「思いやっぺ」考えなければならぬ!ということ、思わず惹き込まれてしまう素晴らしいプレゼンテーションを通じてご提示いただきました。

経営シンポジウム 激動の時代を乗り越えるために ～京都式こだわりの経営～

日時:10月16日(金) 16:00～18:00 場所:京都リサーチパーク 東地区1号館4階 サイエンスホール 主催:KRP地区7機関
後援:近畿経済産業局、京都商工会議所、(社)京都経済同友会、(社)京都工業会、京都産学公連携機構、
(財)大学コンソーシアム京都、京都知恵と力の博覧会推進協議会

サムコ(株)の辻理社長、(株)インダの石田隆英副社長、京都府の山下晃正商工労働観光部長をパネリストに招き、経営コンサルタントの成岡秀夫氏がファシリテーションを行いました。激動の時代を乗り越える経営を京都式経営に求め、その特徴を「経営へのこだわり」、「成長へのこだわり」、「京都へのこだわり」の観点からその特徴を探りました。「長期に成長するにはそれに耐える経営理念が必要」、「事業はニッチに特化して利益を確保する」、「成長にはリスクが伴うので、何を変えて何を変えないかの決断が重要」、「京都には「都市格」があり、それを低下させることなく維持し、活用することが重要だ」、「『わかる』ことと『できる』ことは全く別物。今日、明日実行して成果を出せるかどうか大事」などを軸として議論を展開し、各パネリストから聴衆の方へのメッセージでシンポジウムを締めくくりました。



KRP地区7機関

京都府中小企業技術センター、(財)京都産業21、京都市産業技術研究所、(財)京都高度技術研究所、(社)発明協会 京都支部、(社)京都経営・技術研究会、京都リサーチパーク(株)